

RT56v

ブロードバンドVoIPルータ



困ったときは

本機をお使いになる前に本書をよくお読みになり、正しく設置や設定を行ってください。本書中の警告や注意を必ず守り、正しく安全にお使いください。

付属マニュアルのご案内

本機の機能を十分に活用していただくために、下記のマニュアルを用意致しました。目的にあわせてマニュアルをお選びください。



設定マニュアル

本機を使い始めるときに読むマニュアルです。
設置のしかたや設定のしかただけでなく、CATV/ADSLなどのブロードバンドルータとしての基本的な使いかたについて説明しています。



活用マニュアル

本機の機能を活用するために読むマニュアルです。
電話やブロードバンドルータとしての代表的な使いかたについて、その解説と設定方法を説明しています。



困ったときは(本書)

本機のトラブル発生時の対策や、サポート窓口のご案内について、まとめて説明しています。



コマンドリファレンス(PDF形式)

コマンドを使って高度な設定を行いたいときに読むマニュアルです。本機のコソールコマンドについて解説しています。

 マークのマニュアルは付属のCD-ROMにPDF形式で収録しており、お読みになるにはAcrobat Readerが必要です。先にCD-ROMのAcrobat Readerをインストールしてください。詳しくは活用マニュアル(別冊)の「Acrobat Readerで説明書を読む」(122ページ)をご覧ください。

- 本書の記載内容を一部または全部を無断で転載することを禁じます。
- 本書の内容および本体やかんたん設定ページの仕様は、改良のため予告なく変更されることがあります。
- 本製品を使用した結果発生した情報の消失等の損失については、当社では責任を負いかねます。保証は本製品の物損の範囲に限ります。予めご了承ください。

問題を特定しましょう

現在起こっている問題は何ですか？

考えられる問題点は以下の項目に分類できます。あてはまる問題を選んで、次ページからの解決方法を試してみてください。

01 電話などが使えなくなった
「電話／FAX／モデムが使えない」をご覧ください。

02 設定がうまくいかない
「かんたん設定ページで設定できない」をご覧ください。

03 インターネットにつながらない
「インターネットに接続できない」をご覧ください。

04 インターネット電話機能が
利用できない
「インターネット電話機能で通話できない」をご覧ください。

05 その他の機能が動作しない
最新機能へのバージョンアップ方法
やサポート窓口を確かめたい
「その他の問題」をご覧ください。

Q1 電話/FAX/モデムが 使えない

- 本機の設定を変更してから電話/FAX/モデムが使えなくなった場合は、直前に行った設定に問題がある場合があります。
- 一般回線(アナログ回線)を利用していない場合は、電話やFAX、モデムなどを本機に接続しても使用できません。

Check

1 POWERランプは点灯していますか?
▶ 消灯/点滅している場合は 8ページへ

OK

2 受話器を上げるとLINEランプは点灯しますか?
▶ 点灯していない場合は 8ページへ

OK

3 問題に合わせて、必要なページをご覧ください。

- ▶ 電話がかけられない 10ページへ
- ▶ 電話が着信しない 10ページへ
- ▶ FAXやモデムが使えない 11ページへ
- ▶ ダイヤルイン着信しない 11ページへ
- ▶ ナンバー・ディスプレイが使えない 11ページへ

Q2 「かんたん設定ページ」で 設定できない

本機の設定を変更してから「かんたん設定ページ」設定できなくなった場合は、直前に行った設定に問題がある場合があります。

Check

1 POWERランプは点灯していますか?
▶ 消灯/点滅している場合は 8ページへ

OK

2 LANランプは点灯していますか?
▶ 点灯していない場合は 9ページへ

OK

3 問題に合わせて、必要なページをご覧ください。

- ▶ 「かんたん設定ページ」を表示できない 12ページへ
- ▶ パスワードを入力しても「かんたん設定ページ」が
表示されない 13ページへ
- ▶ 設定内容が元にもどってしまう 14ページへ
- ▶ かんたん設定ページを開く際に、Webブラウザが
パスワードを保存できない 14ページへ

Q3 インターネットに 接続できない

本機の設定を変更してからインターネットに接続できなくなった場合は、直前に行った設定に問題がある場合があります。

Check

- 1 POWERランプは点灯していますか？
▶ 消灯／点滅している場合は 8ページへ
OK
- 2 LANランプは点灯していますか？
▶ 点灯していない場合は 9ページへ
OK
- 3 WAN LINKランプは点灯していますか？
▶ 点灯していない場合は 9ページへ
OK
- 4 問題に合わせて、必要なページをご覧ください。
▶ 接続動作を行わない 15ページへ
▶ フレッツ・ADSLで接続できない 15ページへ
▶ ホームページが表示されない／表示が遅い 15ページへ

次のページにつづく→

Q1

Q2

Q3

Q4

Q5

Q4 インターネット電話機能 で通話できない

本機の設定を変更してからインターネット電話機能で通話できなくなった場合は、直前に行った設定に問題がある場合があります。

Check

- 1 POWERランプは点灯していますか？
▶ 消灯／点滅している場合は 8ページへ
OK
- 2 LANランプは点灯していますか？
▶ 点灯していない場合は 9ページへ
OK
- 3 WAN LINKランプは点灯していますか？
▶ 点灯していない場合は 9ページへ
OK
- 4 問題に合わせて、必要なページをご覧ください。
▶ インターネット電話番号をダイヤルしても、話中音になってしまう 17ページへ
▶ インターネット電話番号をダイヤルしても、無音になる
(30秒ほど経過すると、話中音となる) 17ページへ
▶ インターネット電話が着信しない 18ページへ
▶ インターネット電話で雑音が多い 18ページへ

Q5 その他の問題 サポート窓口のご案内

▶ルータやPCで、NTPサーバを使った時刻合せができない	19ページへ
▶ネットボランチDNSサービスでホストアドレスを取得できない	19ページへ
▶PPTPを利用したリモートアクセスやLAN間接続ができない	19ページへ
▶機器間アナログ通話機能で通話できない	19ページへ
▶パスワードを忘れてしまった	20ページへ
▶本機の設定を工場出荷状態に戻したい	21ページへ
最新情報の入手先は？	21ページへ
本機の最新機能を利用する(リビジョンアップ)	22ページへ
サポート窓口のご案内	23ページへ
本機の保証サービスについて	24ページへ
付録:切断コード一覧	25ページへ

Q1

Q2

Q3

Q4

Q5

ランプの状態を確かめましょう

症状▶	原因▶	対策
ランプがひとつも点灯しない、またはPOWERランプが点滅している	電源コネクタに、付属のACアダプタが接続されていない	本機のDC-IN 10Vコネクタに、付属のACアダプタ(P10V1.2A)のコネクタを正しく接続する。
	付属のACアダプタがコンセントに接続されていない	コンセントから外れているときは、正しく差し込み直す。
	付属のACアダプタを使っていない	本機に付属のACアダプタ(P10V1.2A)を使用する。
	主ブレーカーや配線別ブレーカーが切れている	<ul style="list-style-type: none">• ブレーカーが「切」になっている場合は、「入」にする。• ブレーカーが「入」になっている場合は、1度「切」にしてから「入」にし直す。
	停電している	停電中は、復旧するまでお待ちください。
	コンセントに電気が来ていない(他の電気製品も使えない)	<ul style="list-style-type: none">• 他の製品が動かないときは、コンセントや電気配線の修理を依頼してください。• 他の製品が動くときは、本機の修理を依頼してください。
LINEランプが点灯しない	一般回線(アナログ回線)に接続していない	<ul style="list-style-type: none">• 本機をアナログ回線のモジュラージャックに接続する。詳しくは設定マニュアル(別冊)をご覧ください。• 一般回線(アナログ回線)に接続していない場合は、本機に電話機を接続しても、インターネット電話や機器間アナログ通話以外の電話機能は使えない。
	一般回線(アナログ回線)に接続しない設定になっている	「電話設定」-「基本設定」画面の「電話回線の使用」欄で、[本機を電話回線に接続する]にチェックを付ける。
	本機が誤動作している	<ul style="list-style-type: none">• 本機の設定を工場出荷状態に戻したあとに(20ページ)、ルータの設定をはじめからやり直す。• それでもLINEランプが点灯しない場合は、本機の修理を依頼してください。

症状▶	原因▶	対策
LANランプが点灯しない	HUBやパソコンの電源が入っていない	本機および本機に接続した機器の電源が入っていることを確認する。LANポートに機器を正しく接続しても、接続した機器の電源が入っていないときは、本機のLANランプは点灯しない。
	正しく接続されていない	本機側、パソコンおよびHUB側共にコネクタをいったん外してから、もう1度カチッとロックするまで差し込む。
	LAN用のケーブルを使っていない	<ul style="list-style-type: none"> ISDNケーブルを使用していないかどうか確認する(コネクタ形状が全く同じなので注意が必要)。 他のLANケーブルと取り替えてみる。
WAN LINKランプが点灯しない	ADSLモデムやケーブルモデムの電源が入っていない	電源を入れる。
	ADSLモデムやケーブルモデムの電源が正しく接続されていない	本機のWANポートおよびADSLモデムやケーブルモデムの配線をいったん外してから、もう1度カチッと音がするまで差し込む。
	正しいケーブルを使用していない	ADSLモデムやケーブルモデムとパソコンを接続するものと、同じタイプのケーブルで接続する。
	ユーザー名やパスワードの設定が間違っている(PPPoE方式)	設定したユーザー名やパスワードの設定を確認する。

Q1 電話が使えない

症状▶	原因▶	対策
電話がかかけられない	アナログ機器の電源が入っていない	アナログ機器(電話機やFAX、モデムなど)の電源コードやACアダプタが抜けていないか、電源スイッチが「入」になっているかどうかを確認する。
	アナログ機器が正しく接続されていない	<ul style="list-style-type: none">モジュラーケーブルをいったん外して、カチッと音がするまでしっかりと差し込む。他のモジュラーケーブルと取り替えてみる。
	アナログポートに実際に接続した機器と設定ページのアナログポート設定内容が合っていない	<ul style="list-style-type: none">TELポートごとに設定した通りに、アナログ機器を接続し直す。「かんたん設定ページ」を開き、電話設定の内容を確認する。
	αACRやsuperACRなどのACR(自動電話会社接続機能)を利用している	ダイヤルの桁間隔時間(機能番号41)を9秒以上に設定する(活用) 20ページ)。
電話が着信しない	アナログ機器の電源が入っていない	アナログ機器(電話機やFAX、モデムなど)の電源コードやACアダプタが抜けていないか、電源スイッチが「入」になっているかどうかを確認する。
	アナログ機器が正しく接続されていない	<ul style="list-style-type: none">モジュラーケーブルをいったん外して、カチッと音がするまでしっかりと差し込む。他のモジュラーケーブルと取り替えてみる。
	何も接続していないTELポートがある	<ul style="list-style-type: none">機器を接続していないTELポートは、電話機能設定の「アナログポート使用制限の設定(機能番号14)」を「使用しない」に設定する(活用) 20ページ)。「かんたん設定ページ」を開き、「電話設定」-「基本設定」画面の「使用制限」を確認する。
	使用している電話機がナンバー・ディスプレイに対応していない	<ul style="list-style-type: none">電話機がナンバー・ディスプレイ非対応の場合は、「かんたん設定ページ」の「ナンバー・ディスプレイ対応機器の接続」を「使用しない」に設定する。電話機がナンバー・ディスプレイ対応の場合は、「かんたん設定ページ」の「ナンバー・ディスプレイ対応機器の接続」を「使用する」に設定する。

症状▶	原因▶	対策
FAXやモデムが使えない	通話音量が大きすぎる／小さすぎる	通話音量が大きすぎたり、小さすぎたりすると、通信ができないことがある。「かんたん設定ページ」や電話機から音量レベル(PAD調整)値を変更する(活用) 21ページ)。
	アースコードが接続されていない	アースコードが正しく接続されていないと、通信にノイズが入り、つながりにくくなることもある。必ず、アースコードで本機のアース端子とコンセントのアース(接地)端子を接続する。
ダイヤルイン着信しない	回線番号ごとに電話番号、ダイヤルインの設定が正しく行われていない	「電話設定」-「基本設定」画面で、正しく設定する(活用) 38ページ)。
ナンバー・ディスプレイが使えない	ナンバー・ディスプレイを使用しない設定になっている	ナンバー・ディスプレイを使用するように設定する(活用) 33ページ)。
	使用している電話機がナンバー・ディスプレイに対応していない	上記「電話が着信しない」を参照して、正しく設定する。
TELポートに接続した留守番電話に、相手が切断した後、長時間の話中音が録音されている	留守番電話が話中音の検出機能を持っていないため、相手の切断を認識できない	留守番電話機側で伝言の録音時間が調整できる場合は、録音時間を調整する。

Q2 「かんたん設定ページ」で 設定できない

症状▶	原因▶	対策
「かんたん設定ページ」を表示できない	パソコンのネットワーク設定が不適切 (LAN上の他のパソコンやネットワークプリンタも使用できない)	<ul style="list-style-type: none">• LANボードやLANカードの設定をやり直して、パソコンを再起動する。• Windowsの場合は、IPアドレスをリセットする(活用 129ページ)。• Macintoshの場合は、「TCP/IP」コントロールパネルの[経由先]を[Ethernet]、[設定方法]を[DHCPサーバを参照]に設定してから、設定を保存する。
	通信速度が正しく認識されていない	100BASE-TX対応のLANカードを使用しているときは、LANカードを自動認識に設定する。通信が不安定な場合は、本機のDIPスイッチで、使用しているLANポートの通信速度を10Mbit/sの半二重に固定する(活用 12ページ)。
	ルータのIPアドレスを変更した	<ul style="list-style-type: none">• 本機に設定したIPアドレス「http://(本機のIPアドレス)」にアクセスする。• 本機とLANに接続しているすべてのパソコンを再起動する。再起動または電源を切ることができないときは、パソコンを1台だけ本機に接続し、それ以外のLANケーブルを取り外してから、本機とパソコンの電源を入れる。• パソコンの設定が同じIPアドレス範囲になっているか、他の機器とIPアドレスが重なっていないか確認する。
	ルータのURLが不適切である	本機を初めて使うときや工場出荷値に戻した後は、「http://192.168.0.1/」または「http://setup.netvolante.jp/」にアクセスする。
	パソコンのWebブラウザの接続経路設定が、LAN経由になっていない	Windows版Internet Explorer5の場合、[インターネットオプション]の[接続]タブでダイヤルアップ接続をする設定になっていると、「かんたん設定ページ」にアクセスできないので、[ダイヤルしない]に変更する。

症状▶	原因▶	対策
「かんたん設定ページ」を表示できない(つづき)	パソコンのWebブラウザでProxy(プロキシ)サーバを使用している	<p>プロキシの設定が正しくないと、「かんたん設定ページ」が表示できなくなる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Internet Explorerの場合： メニューから[ツール]→[インターネットオプション]→[接続]タブ→[LANの設定]を開き、[プロキシサーバを使用する]のチェックをはずす。 • Netscape Navigatorの場合： メニューから[編集]→[設定]→カテゴリの[詳細]の[+]をクリック→[プロキシ]を選び[プロキシ]の設定を開き、[インターネットに直接接続する]にチェックを付ける。
	パソコンをWebブラウザ経由で遠隔操作している	IPアドレスによるアクセス制限機能が働いていると、許可されていないホストからのアクセスに対しては、「Error 503 This server is available to members only. I'm sorry, your host is not member.」と表示される。遠隔操作する場合は、[HTTPサーバ利用者制限]の設定を変更する(活用 78ページ)。
	「かんたん設定ページ」を一度も開いていない	「本機の設定を工場出荷状態に戻す」(21ページ)を行ったあと、もう一度、パスワードの設定からやり直す。パスワードは大文字と小文字が区別されるので、設定したパスワードを間違えないように半角の英数字で入力する。
パスワードを入力しても「かんたん設定ページ」が表示されない	パスワードが設定されていない	<ul style="list-style-type: none"> • 本機の設定を行ったルータ管理者にご相談ください。 • 設定したパスワードを忘れてしまったときは、「パスワードを忘れてしまった」(20ページ)をご覧ください。
	パスワードが間違っている(パスワードエラーが表示される)	<ul style="list-style-type: none"> • パスワードは、全角/半角や大文字/小文字の違いも区別される。必ず半角の英数字で大文字/小文字まで正確に入力する。 • Webブラウザに認証情報(ユーザ名、パスワード)が残っていると、それを自動的に送信するため、エラーになる場合がある。ユーザ名を削除してからパスワードを入力し直すか、ブラウザをいったん終了してから「かんたん設定ページ」を開き直す。

Q2 「かんたん設定ページ」で設定できない

症状▶	原因▶	対策
設定内容が元にもどってしまう	設定後に[登録]をクリックしていない	「かんたん設定ページ」で設定を変更したときは、必ず[登録]をクリックして設定を保存する。[登録]をクリックせずに画面を閉じると、設定内容は保存されない。
かんたん設定ページを開く際に、Webブラウザにパスワードを保存できない	「ネットワークパスワードの入力」画面で、ユーザ名を空欄にしている	Webブラウザによっては、パスワードを保存するためにユーザ名の入力が必要な場合がある。この場合は、任意の文字列を入力する。

Q3 インターネットに接続できない

症状▶	原因▶	対策
接続動作を行わない	ルータに接続できない(パソコンから「かんたん設定ページ」を開けない)	<ul style="list-style-type: none">• パソコンを再起動する。• Windowsの場合は、IPアドレスをリセットしてから、もう1度接続してみる(活用 129ページ)。
	自動接続先のプロバイダ情報が登録されていない	<ul style="list-style-type: none">• 「かんたん設定ページ」で接続するプロバイダの情報を設定する。• 「かんたん設定ページ」で自動接続設定を「入」にしてから、接続するプロバイダを選ぶ。
	ユーザーIDまたはパスワードが間違っている(「かんたん設定ページ」の「プロバイダ接続管理」画面の「最後の通信」欄に、「IDまたはパスワードの認証に失敗しました」と表示される)	<ul style="list-style-type: none">• プロバイダの接続情報書類を確認し、「プロバイダ接続管理」画面で[登録の修正]をクリックして、正しいユーザーIDとパスワードを入力し直す。• Macintoshの場合は、TCP/IPの経由先が正しく設定されているか確認する。• プロバイダの認証サーバが混雑していると、接続に失敗することがある。しばらく時間を置いてから、アクセスし直す。
フレッツ・ADSLで接続できない	ユーザーIDまたはパスワードが間違っている	プロバイダから指定されたユーザーIDに加えて、プロバイダ名まで指定する必要がある(例: username@xxx.ne.jp)。フレッツ・ADSLとプロバイダの設定資料を参照して、正しく入力する。
ホームページが表示されない/表示が遅い	プロバイダ設定のDNSサーバアドレスが間違っている	<ul style="list-style-type: none">• ルータとして使用している場合は、プロバイダ接続設定にDNSサーバアドレスが設定されているか確認する。• 本機をルータとして使用している場合は、各パソコンのDNSサーバアドレス設定に本機のIPアドレスを入力してから、パソコンを再起動する。• WebサーバやDNSサーバが混雑または停止している可能性がある。しばらく時間を置いてから、アクセスし直す。

Q2

Q3

Q3 インターネットに接続できない

症状▶	原因▶	対策
ホームページが表示されない／表示が遅い(つづき)	本機のフィルタが動作している	プロバイダから与えられたIPアドレスがプライベートアドレスで、ファイアウォールなどのセキュリティフィルタを適用している場合は、以下の方法でIngressフィルタの適用をはずす。 <ul style="list-style-type: none">• 変更例1：[プロバイダ接続管理]－[登録の修正]画面で、Ingressフィルタを含まないセキュリティレベルに設定する。• 変更例2：ファイアウォール機能の設定で、静的フィルタの 0、1、2、10、11、12の適用をはずす。
	プロバイダから与えられたIPアドレスとルータに設定されているIPアドレスが重複している	[LAN/WAN設定]画面で、ルータのIPアドレスをプロバイダから与えられたものと重複しないアドレスに変更する。この場合、本機のファイアウォール機能は再適用する必要がある。
	回線の種類に問題がある(PPPoE方式ADSL接続時のみ)	ADSL回線の種類によっては、標準的な設定のままでは、一部のホームページのデータが受信できないか、データの受信が非常に遅くなることもある。いったん接続を切断してから、「プロバイダ接続管理」画面のPPPoE方式のプロバイダの[登録の修正]でMTUに1454などの値を設定して、接続し直す。
	回線やプロバイダ、Webサーバが混雑している	時間帯などによっては、非常に遅くなる場合がある。回線速度に比べて非常に遅い状態が続く場合は、ご利用の回線業者やプロバイダにお問い合わせください。

Q4 インターネット電話機能で通話できない

症状▶	原因▶	対策
インターネット電話番号をダイヤルしても、話中音になってしまう	インターネット電話が利用できない設定になっている	<ul style="list-style-type: none"> • かんたん設定ページの「電話設定」-「インターネット電話設定」画面で、「インターネット電話機能を使用する」に設定する。 • かんたん設定ページの「電話設定」-「インターネット電話設定」画面で、対応するアナログポートを「インターネット電話を使用する」に設定する。
	インターネット電話に対応する識別番号(プレフィックス)をダイヤルしていない	<ul style="list-style-type: none"> • 設定したプレフィックスをダイヤルしてから、インターネット電話番号をダイヤルする。 • かんたん設定ページの「電話設定」-「発信時の回線選択」で、プレフィックスの番号を都合の良い番号に変更する。
	ネットボランチ電話番号の場合、ダイヤルした番号が間違っている	相手の正しいネットボランチ電話番号をダイヤルする。
	ネットボランチ電話番号の場合、相手がネットワークに繋がっていない	相手がネットワークに繋がっていることを確認してから電話する。
	電話番号がインターネット電話帳に登録されていない	<ul style="list-style-type: none"> • 登録されている電話番号をダイヤルする。 • 新たに電話番号を登録する。
	インターネット電話帳の相手のアドレスが間違っている	インターネット電話帳に正しいアドレスで登録し直す。
インターネット電話番号をダイヤルしても、無音になる(30秒ほど経過すると、話中音となる)	相手が着信を拒否している	インターネット電話帳に登録されている内容のユーザ名の設定が正しいか確認し、修正する。
	インターネット電話帳の相手のアドレスが間違っている	正しいアドレスで登録し直す。
	相手がネットワークに接続していない	相手がネットワークに繋がっていることを確認してから電話する。

Q3

Q4

Q4 インターネット電話機能で通話できない

症状▶	原因▶	対策
インターネット電話が着信しない	インターネット電話が利用できない設定になっている	<ul style="list-style-type: none">• かんたん設定ページの「電話設定」-「インターネット電話設定」画面で、「インターネット電話機能を使用する」に設定する。• かんたん設定ページの「電話設定」-「インターネット電話設定」画面で、対応するアナログポートを「インターネット電話を使用する」に設定する。
	インターネット電話着信時の宛先ユーザ名が、着信できないユーザ名になっている	<ul style="list-style-type: none">• かんたん設定ページの「電話設定」-「インターネット電話設定」画面で、対応するアナログポートを「着信はすべて受け付ける」に設定する。• 通信相手に自分が設定しているユーザ名を知らせ、そのユーザ名宛に発信してもらうようにする。
インターネット電話で雑音が多い	他に帯域を大幅に使用する通信(ストリーミング配信など)を行っている	<ul style="list-style-type: none">• 通信を終了してから、インターネット電話をかける。• 他の通信で使用する帯域がアプリケーションで設定可能であれば、使用する帯域を少なくする。
	相手との間に帯域の狭い経路が存在する	<ul style="list-style-type: none">• 複数のサービスと契約している場合は、サービスを変えてみる。• 時間帯を変えて、通話をためず。

Q5 その他の問題

症状▶	原因▶	対策
ルータやパソコンで、NTPサーバを使った時刻合せができない	NTPサーバのIPアドレスやドメイン名が間違っている	<ul style="list-style-type: none">• 入手したNTPサーバ情報と比較し、正しく設定されていることを確認する。• NTPサーバに対してpingを実行し、NTPサーバが稼動していることを確認する。
	登録されているNTPサーバへの経路が設定されていない	プロバイダ設定や経路設定を確認する。
	本機のセキュリティフィルタが動作している	<ul style="list-style-type: none">• 「付加機能」-「ファイアウォール」画面の「表示インタフェース」欄でプロバイダへの接続を選んでから[表示の変更(再表示)]をクリックする。「静的フィルタの一覧」の下部にNTPポートを通す(Pass)フィルタが表示される(NTP server、NTP client)ので、[入][出]の両方にチェックを付ける。• 本機のセキュリティフィルタのレベルを7にする。
ネットボランチDNSサービスでホストアドレスを取得できない	プロバイダによっては、登録/更新してすぐに名前解決ができない場合がある	しばらく時間をおいてから、再度試してみる。
	プロバイダからプライベートIPアドレスが割り当てられている	本機にグローバルIPが割り当てられていない環境では、ネットボランチDNSサービスは利用できない。
	ネットボランチDNSサーバのアドレスを取得できていない	ネットボランチDNSサーバのIPアドレスを直接指定してみると問題が解決する場合がある。「かんたん設定ページ」の[システム管理]-[コマンド設定]画面の「コマンド入力」欄に半角英数字で「netvolante-dns server 211.133.249.145」と入力してから、[入力]をクリックする。
PPTPを利用したリモートアクセスやLAN間接続ができない	プロバイダからプライベートIPアドレスが割り当てられている	本機にグローバルIPが割り当てられていない環境では、PPTP関連の機能は利用できない。
機器間アナログ通話機能で通話できない	一般回線に接続されていない機器が、接続されているような設定になっている	アナログ子機側のルータの「電話設定」→「基本設定」画面で、「本機を電話回線に接続する」のチェックをはずす。

Q4

Q5

Q5 パスワードを忘れてしまった

ログインパスワードを忘れた場合は

管理パスワードでログインしてください。管理パスワードをLANの管理者が管理しているときは、LANの管理者にログインパスワードを再発行してもらいます。

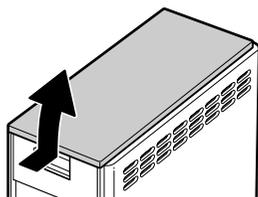
管理パスワードを忘れた場合は

本機の上部カバー内のDIPスイッチ設定を変更すると、パスワードなしで本機の設定を変更できるようになります。

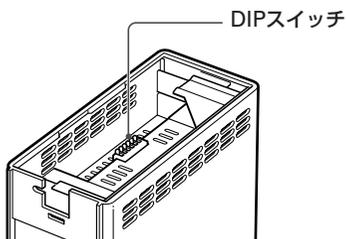
ご注意

セキュリティ上の問題を防ぐために、以下の操作を行った後は必ずDIPスイッチの設定を元に戻してください。パスワードなしで本機の設定を変更できる状態のままインターネットに接続すると、悪意を持ったユーザーによってさまざまな損害を受ける場合があります。

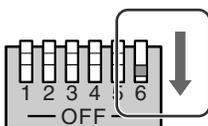
- 1 本機背面のツメの部分を押しながら、カバーを開く。



カバーの内部にDIPスイッチがあります。

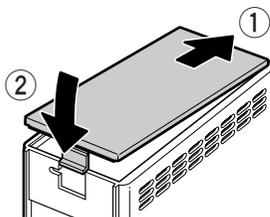


- 2 DIPスイッチの6番を「OFF」にする。

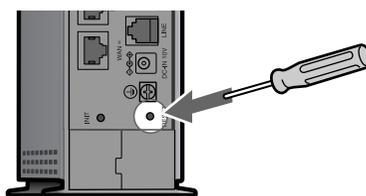


- 3 上部カバーを閉じる。

本機前面のくぼみにカバーのツメを引っかけてから、「カチッ」と背面のツメが固定されるまでカバーをゆっくり閉じる。



- 4 本機背面のRESETスイッチを、先の細いもので押す。



本機が再起動します。

- 5 パソコンでWebブラウザを起動して、ファイルメニューの「開く」を選ぶ。

「ファイルを開く」画面が表示されます。

- 6 「<http://setup.netvolante.jp/>」と半角英字で入力してから、[OK]をクリックする。

本機のIPアドレス(工場出荷時は192.168.0.1)を半角英数字で入力して開くこともできます。



- 7 はじめにパスワードを決めたときと同様に、好みのパスワードを入力して、パスワードを登録する。

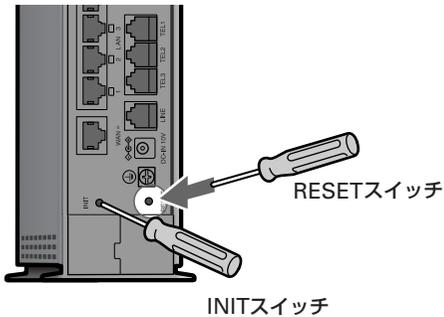
- 8 パスワードを設定したら手順1~3と同様に操作して、DIPスイッチの6番を「ON」に戻す。

Q5 本機の設定を工場出荷状態に戻す

本機の設定内容を工場出荷設定に戻したいときは、次の操作を行ってください。

INITスイッチを押しながら、RESETスイッチを押す。

スイッチは小さな穴の内部にありますので、精密ドライバーやボールペンの先など、先の細いもので押してください。



現在設定されている内容が、出荷時の設定内容にもどります。

それまでに設定した内容はすべて初期化されますので、最初から設定をやり直してください。

Q5 最新情報の入手先は？

本機に関する最新情報は、インターネットのホームページで入手できます。設定に関する初歩的な情報からルータの専門的な情報まで、それぞれの目的別に用意していますので、十分ご活用ください。

NetVolanteシリーズのホームページ

本機やNetVolanteシリーズに関する最新情報をご覧ください。

<http://NetVolante.jp/>

NetVolanteシリーズでお問い合わせの多い質問 (FAQ)

本機やNetVolanteシリーズに関するQ&Aをご覧ください。ネットボランチのホームページ (<http://NetVolante.jp/>) から、必要な情報を入手してください。

NetVolanteシリーズのリビジョンアップ情報

本機やNetVolanteシリーズの最新ファームウェアに関する情報をご覧ください。ネットボランチのホームページ (<http://NetVolante.jp/>) を表示してから、リビジョンアップ情報のページを表示してください。

RTシリーズのホームページ

RTシリーズのルータに関する最新情報やルータの技術情報、高度な利用方法などをご覧ください。

<http://www.rtpro.yamaha.co.jp/>

Q5 本機の最新機能を利用する (リビジョンアップ)

NetVolanteシリーズのホームページから、本機の機能を管理するプログラム(ファームウェア)をダウンロードして本機に転送することで、本機の最新の機能をご利用いただけます(リビジョンアップ)。

リビジョンアップは次の手順で行います。ここでは、WindowsXPを例に説明しています。

ご注意

- リビジョンアップを始めたら、完了して本機が再起動するまで絶対に何も操作をしないでください。万一、中断したときは本機が使えなくなることがあります。その場合は、持ち込み修理が必要となります。
- RT-RevUpper(リビジョンアップ・プログラム)をダウンロードするためには、インターネットへの接続が必要です。それに伴った電話料金とプロバイダ接続料金がかかります。
- リビジョンアップが完了すると、本機は自動的に再起動されるため、すべての通信が切断されます。
- 工場出荷時に搭載されているファームウェアのリビジョンより古いリビジョンのファームウェアは使用しないでください。

1 パソコンでWebブラウザでネットボランのホームページ(<http://www.NetVolante.jp/>)を表示してから、リビジョンアップ情報のページを表示する。

2 リビジョンアップの内容をよく読み、お使いのOS用のRT-RevUpper(リビジョンアップ・プログラム)をパソコンにダウンロードする。

WindowsおよびMacintosh以外のOSや、RT-RevUpperが正しく動作しない場合は

tftp用バイナリファイルをダウンロードし、「かんたん設定ページ」の「システム管理」-「コマンド設定」画面のコマンド入力欄に「tftp host any」と入力してから、[OK]をクリックしてください。そのあとにtftpソフトウェアを使って、tftp用のバイナリファイルを転送してください。

3 ダウンロードしたRT-RevUpper(リビジョンアップ・プログラム)のアイコンをダブルクリックする。



ご注意

RT-RevUpperを開く前に、TELNETなどのルータにアクセスしているプログラムを終了してください。

4 リビジョンアップするルータのIPアドレスを確認してから、[開始]をクリックする。

複数のRT56vを使用している場合は、リビジョンアップするルータのIPアドレスを選んでください。



指定したIPアドレスを検索し、リビジョンアップ可能なルータの場合は、パスワード入力画面が表示されます。

ご注意

必ずRT56vのIPアドレスを選んでください。誤って他機種のIPアドレスを選ぶと、そのルータが使えなくなることがあります。その場合は、持ち込み修理が必要となります。

- 5 ルータのパスワードを入力してから、[実行]をクリックする。



リビジョンアップが始まります。
リビジョンアップが完了すると、本機は自動的に再起動します。

ご注意

リビジョンアップ中は、絶対にケーブルを抜いたり、本機やパソコンの電源を抜いたりしないでください。ルータが使えなくなり、持ち込み修理が必要となる場合があります。

- 6 本機が再起動したら、[終了]をクリックする。
- 7 パソコンでWebブラウザを起動して、本機の「かんたん設定ページ」にアクセスしてリビジョンを確認する。
リビジョン番号は、「かんたん設定ページ」のタイトルバーやトップ画面、「システム管理」の[コマンド設定]画面で確認できます。

お問い合わせの前に

本書をもう1度ご確認ください

本書をよくお読みになり、問題が解決できないかどうかご確認ください。本機に付属の設定マニュアルや活用マニュアルも、あわせてご覧ください。

ログ情報や設定情報をご確認ください

お客様のルータの状態を把握するために、弊社の担当者がログ(syslog)情報や設定(config)情報を確認させていただくことがあります。特に電子メールでお問い合わせの際は、ログ情報や設定情報を問題の症状とあわせてお知らせいただくことで、問題の解決が早まる場合があります。

ログ情報や設定情報は、以下の方法でご確認ください。

- 1 パソコンでWebブラウザを起動して、ファイルメニューの[開く]を選ぶ。
「ファイルを開く」画面が表示されます。
- 2 「http://setup.netvolante.jp/」と半角英字で入力してから、[OK]をクリックする。
本機のIPアドレス(工場出荷時は192.168.0.1)を半角英数字で入力して開くこともできます。
「ネットワークパスワードの入力」画面が表示されます。
- 3 [パスワード]欄にルータの管理パスワードを入力してから、[OK]をクリックする。
「トップ」画面が表示されます。
- 4 画面左側の[システム管理]をクリックする。
- 5 ログ情報を表示する場合は[システムログ]、設定情報を表示する場合は[コマンド設定]をクリックする。
本機のログ(syslog)情報、または設定(config)情報が表示されます。

Q5 サポート窓口のご案内

お問い合わせ窓口

本機に関する技術的なご質問やお問い合わせは、下記へご連絡ください。

ネットボランチコールセンター

RT56v専用サービス窓口

TEL:03-5715-0350

ADSLルータ専用お客様窓口

TEL:03-5715-3575

(土日祝日を除く9時～12時、13時～17時)

電子メールでのお問い合わせは

- Webお問い合わせページ：
<http://NetVolante.jp/>
- メールアドレス：
support@netvolante.jp

Q5 本機の保証サービスについて

本機や本機の付属品に不良があった場合は、すぐにご購入の販売店へご連絡ください。また、通常のご使用で故障が発生した場合は、保証期間中は無償にて修理いたします。ご購入の販売店またはヤマハサービス窓口へご連絡ください。また保証期間後は、有料にて修理いたします。

なお、保証期間中の修理には、保証書が必要です。ご購入時に「お買い上げ年月日」と「販売店名」の記入をご確認の上、保証書をお受け取りください。保証書がない場合は、保証期間内であっても有料となります。

保証期間:ご購入から1年間

0 通信中または正常切断

825 TCPレスポンス待ちタイムアウト

TCPのセッション要求に対する応答がない。接続相手先が正しいかどうかを確認する。

826 相手応答なし

接続相手先からの応答がない。接続相手先が正しいかどうかを確認する。

827 トンネル切断タイマタイムアウト

PPTPトンネル中にデータパケットがない状態が続き、切断した。常時接続にしたい場合は、トンネル切断タイマをOFFにして、キープアライブをONにする。

828 キープアライブ失敗

接続相手先からの応答がなく、検出回数を越えたので切断した。接続相手先の状態を確認する。

848 PPPoE接続でサーバによりサービスを拒否された

要求したサービスがサーバにより拒否された。(RT/RTAでは表示されない)

849 PPPoE接続でサーバによりサービスを拒否された

サーバが高トラフィックで輻輳している可能性がある。

850 PPPoE接続で回復不能なエラーが発生した

ログに表示された理由のエラーが発生した。

851 PPPoE接続でPADIタイムアウト

接続先にサーバが存在しない。または、サーバまでの区間の回線状態が良くない可能性がある。

852 PPPoE接続でPADRタイムアウト

サーバまでの区間の回線状態が良くない可能性がある。

1281 PPP手順においてLCPタイムアウト

設定誤りの可能性がある。

1282 PPP手順においてIPCPタイムアウト

設定誤りの可能性がある。

1297 相手による認証が拒否された

設定誤りの可能性がある。

1298 自分が認証を拒否した

設定誤りの可能性がある。

1299 相手の認証に失敗した

設定誤りの可能性がある。

1300 相手に認証させるのに失敗した

設定誤りの可能性がある。

1301 相手に認証させるのに失敗した回数が多い すぎるため発信できない

設定誤りの可能性がある。

1302 相手の認証でタイムアウトした

設定誤りの可能性がある。

1303 相手に認証させるのにタイムアウトした

設定誤りの可能性がある。

1305 LCPキープアライブによる発信に失敗した

PPPoEサーバがダウンしているか、PPPoEサーバまでの回線のどこかに問題がある可能性がある。

1306 暗号化失敗による着信拒否

MPPEのネゴシエーションで暗号化が成立せずに着信拒否した。相手先が暗号化ありの設定になっているか確認する。

3001 着ユーザ名前異常

相手sipアドレスのホスト名の名前解決に失敗した。相手sipアドレスが間違っているか、DNSサーバが停止している可能性がある。

3002 経路なし

相手とインターネット電話をするための経路がない。インターネットに接続されていない可能性がある。

3003 着ユーザなし

相手sipアドレスの宛先が存在しない。相手sipアドレスの設定が間違っている可能性がある。

3017 着ユーザビジー

発信した相手がすでに他の端末と通信中で通信できない。相手が通話中。

3018 着ユーザレスポンスなし

発信したが規定時間内に何の反応も返ってこなかった。相手の電源が切れているか、相手sipアドレスが間違っている可能性がある。

3021 着ユーザ拒否

何らかの理由で相手端末が着信を拒否した。相手sipアドレスが間違っている可能性がある。また、相手側が着信可能な設定になっているか確認する。

3027 相手端末故障中

相手端末の故障などにより相手インタフェースの起動不可。相手端末障害により相手端末で着信が出来ない状態になっている可能性がある。

3028 設定間違い

相手sipアドレスが長すぎる。相手sipアドレスの設定が不正確である可能性がある。

3034 インターネット電話用利用可ポート無し

インターネット電話に使用するポートが確保できなかった。すでにインターネット電話用の全てのポートが使用されている。

3057 メディア不一致

相手と通話するための方式が違う。相手が音声通話が出来ない製品の可能性がある。

3101 機器エラー

ネットボランチ内部でエラーが発生した。ネットボランチがおかしな状態になっている可能性がある。

3102 自分宛

本ネットボランチに発信しようとした。自分宛には発信できません。

3200 その他のインターネット電話機能のエラー

ヤマハ株式会社

● ネットボランテコールセンター

RT56v専用サービス窓口

TEL-03-5715-0350

ADSLルータ専用お客様窓口

TEL-03-5715-3575

土日祝日を除く9時～12時、13時～17時

● 電子メールでのお問い合わせ

Webお問い合わせページ-<http://NetVolante.jp/>

メールアドレス-support@netvolante.jp

V953380



この取扱説明書は大豆油インクで印刷しています。

この取扱説明書は無塩素紙 (ECF: 無塩素紙漂白パルプ) を使用しています。